

芦屋室内合奏団

第2回 春のバロックコンサート



西宮市プレラホール

2002年4月7日(日)

開場13:30

開演14:00

ごあいさつ

桜の美しい季節がやってまいりました。（今年はもう散りました！）

当団も、昭和40年春に発足して以来、皆様方の暖かいご声援に支えられ、早いもので37年目に入りました。

今年も昨年に引き続き、秋の定期演奏会に加えて、小規模な「春のバロックコンサート」を企画致しました。今回のプログラムは、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロと、ソロの多い曲ばかりですが、ソリストはすべて当団のメンバーが努め、夫々の個性をハラハラしながら楽しんでいただく「家庭音楽会」の様な趣となっております。相変わらぬご声援感謝致します。

2002年4月 芦屋室内合奏団 団長 青柳 良
団員 一同

プログラム

A. ヴィヴァルディ 「2つのチェロのための協奏曲」

I. Allegro II. Largo III. Allegro

鳥丸 直子、宮崎 晴夫

J. S. バッハ 「ブランデンブルク協奏曲 Nr.6」

I. Allegro II. Adagio ma non troppo III. Allegro

河野 建一、中田 久仁子

＜ 休 憩（15分） ＞

閑話休題 ; チェンバロの魅力 ラモー 「めんどり」

小津 久子

A. ヴィヴァルディ 「合奏協奏曲 Op.8 四季」

◆ ソネット朗読 橋本 紀子

“ 春 ” *I. Allegro II. Largo III. Allegro*

三瓶 政一

“ 夏 ” *I. Allegro con molto II. Adagio III. Presto*

福永 精一

“ 秋 ” *I. Allegro II. Adagio molto III. Allegro*

阿部 卓也

“ 冬 ” *I. Allegro non molto II. Adagio III. Allegro*

鳥丸 安雄

◆◆◆

指揮 酒井 睦雄

ヴィヴァルディ「四季」のソネット (Sonetto)

春

- I 春がやってきた
小鳥達が陽気な歌で春に挨拶する
西風の息吹に泉は、
優しくささやきながら溢れ流れる
- 大気を黒いマントで覆いつつ、稲妻と雷鳴が選ばれ、
春の訪れを告げにやってくる
嵐が静まると小鳥達は、
うっとりするような歌を再び奏で始める
- II そして花咲く心地よい野では、
草木の葉すれの親し気なささやきに、
牧者が忠実な犬を傍らにまどろむ
- III 田園風バッグパイプの陽気な調べに合わせ、
ニンフと牧者はお気に入りの場所で、
まばゆい春の訪れに踊る

秋

- I 若者は踊りと歌で、
豊かな収穫の喜びを祝う
バックスの飲物で紅潮した大勢の者達は
楽しみの果てに眠り込む
- II 和らいだ心地よい大気は
人々の歌と踊りを途中で止めさせる
大勢を快い眠りの楽しみに
誘うのがこの季節
- III 夜が開けると狩人達は、
角笛と猟銃を持ち、犬を連れて狩りに出かける
獣が逃げ、狩人達がその後を追う
- 騒がしい猟銃の音と犬の吠え声に、
驚き疲れた獣は、傷つきおびえる
逃げ疲れ、打ちのめされて息絶える

夏

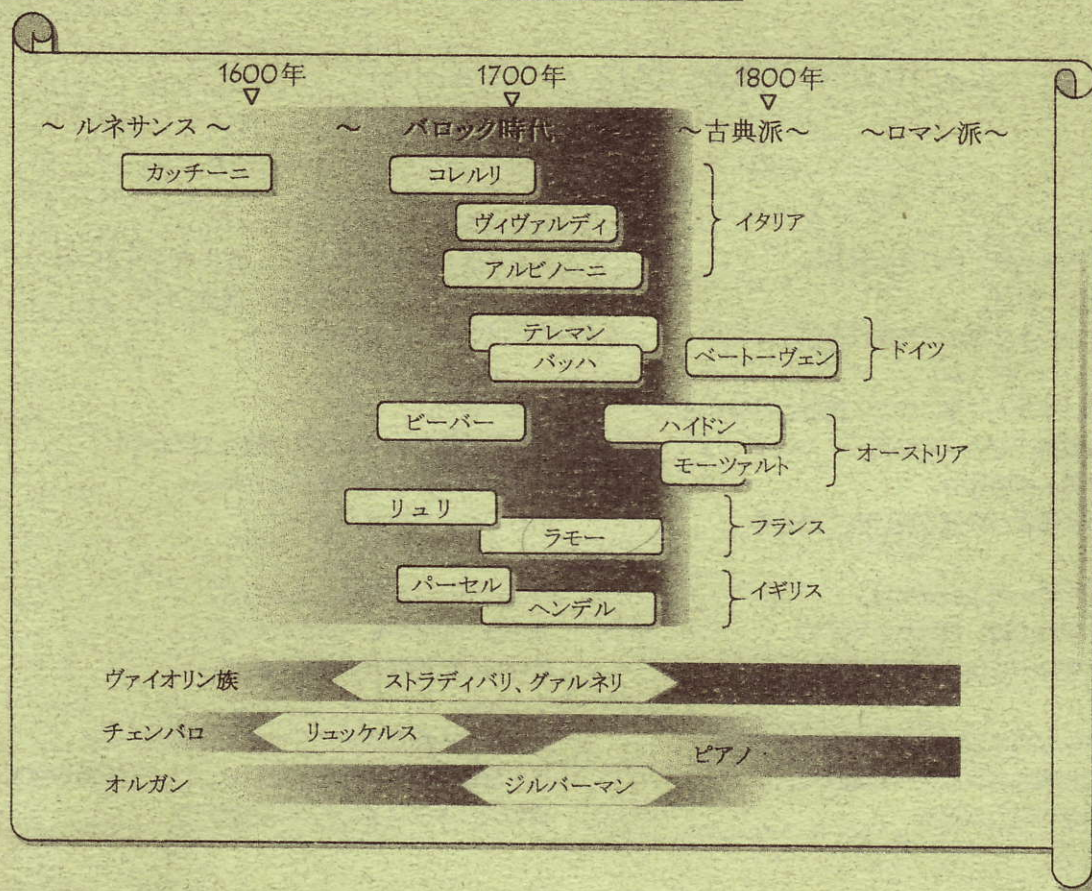
- I 太陽のやけつく厳しい季節には、
人も家畜の群れもけだるく、松の木は干上がる
かっこうが鳴くと、耳ざとく聞きつけて
きじばとやごしきひわも歌う
- 西風の精が優しく吹く
が、その隣で突然、北風が競うように動く
牧者は、荒々しい北風が止み時の、
自分の運命を心配して嘆く
- II 稲妻と荒々しい雷鳴への恐れと、
怒り狂った蟬や虻の群のために、
彼は疲れた四肢を休められない
- III ああ彼の心配が現実となったとは余りのこと、
天は雷鳴を鳴らし、雷を落とし、ひょうを降らせて、
穂や誇らし気な麦の先を叩き落とす

冬

- I 冷たい雪の中で
過酷に吹き付ける恐ろしい風に凍え震える
絶えず足を踏みつけて走り
余りの寒さに歯の根が合わない
- II 外は雨ですっかり濡れそぼっているが
火の傍らで静かな満ち足りた日々を過ごす
- III 氷の上を歩く 転ぶといけないので
ゆっくりとした足取りで、注意深く
- 急いで、足を滑らせ、転ぶ
再び氷の上を歩き、急いで走ると
氷が碎けて飛び散る
- 東南の風、北風、すべての風達が争って
閉じた扉から入ってくる音がする
これが冬・・・しかしこうして冬は喜びをもたらす

「音楽之友社版スコアの岸本宏子訳による」

◎バロック時代（およそ1600年～1750年）の作曲家



◎指揮者 酒井睦雄

桐朋学園高等学校音楽科を経て1971年桐朋学園大学卒業。指揮を斉藤秀雄、秋山和慶両氏に、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F. フックス各氏に師事。71年より相愛オーケストラ指揮者、77年ザルツブルクにてO. スイトナー氏に師事。同年、東京にてS. チェリビダッケ氏のゼミナールに参加。2001年には芦屋室内合奏団を率いてドイツのバンベルクにてバンベルク交響楽団団員とともにニューイヤーコンサート、ドレスデンにてフラウエン教会落成記念コンサート等を行い好評を博す。現在、相愛大学教授として音楽専門家の育成にあたる傍ら、74年より芦屋室内合奏団音楽監督、岐阜交響楽団常任指揮者、90年より高知室内管弦楽団指揮者をつとめる等、アマチュア合奏団の発展にも尽力している。

◎芦屋室内合奏団

音楽監督	: 酒井睦雄	Vn: 鳥丸安雄	阿部卓也	藤本恭子	福永千江子	三瓶政一
団長	: 青柳良	福永精一	青柳良	黒川美恵子	児玉七恵	
コンサートマスター	: 鳥丸安雄	Va: 河野建一	大内隆一	中田久仁子	竹村久美子	
マネージャー	: 福永精一	Vc: 鳥丸直子	宮崎晴夫			
部長	: 中田和夫	Cb: 中田和夫				
		Cembalo: 小津久子				

次回演奏会のお知らせ : 芦屋室内合奏団 第36回定期演奏会
2002年11月24日(日) 13:00~ 神戸朝日ホール

🌀 芦屋室内合奏団 🌀

第2回春のバロックコンサートご案内

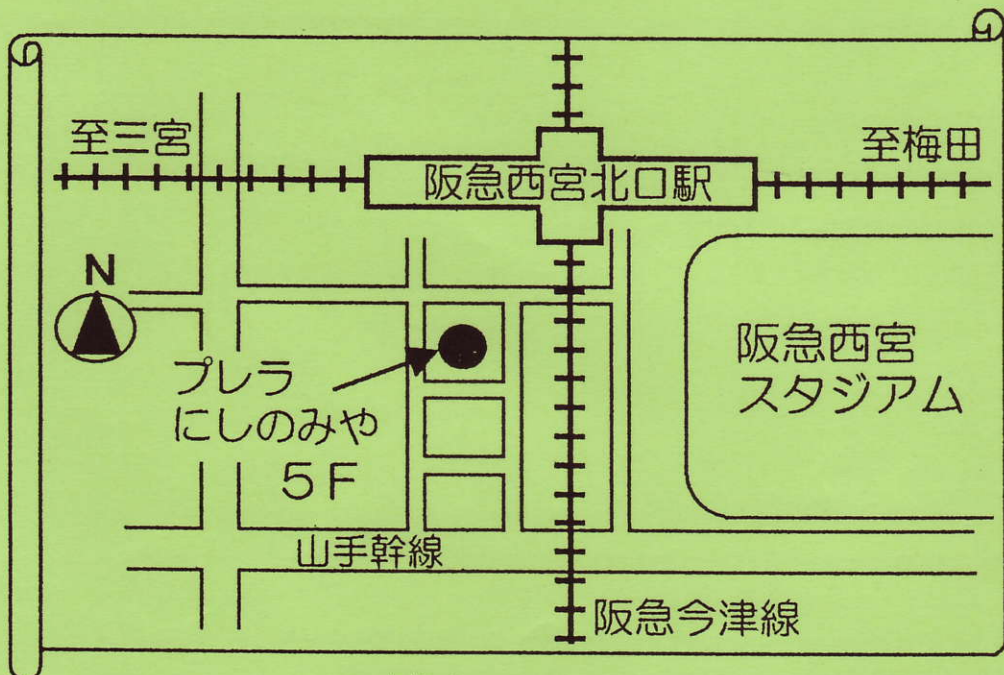
◎日時：平成14年4月7日(日)
13:30開場、14:00開演

◎場所：西宮市プレラホール
～プレラにしのみや 5階～
阪急西宮北口駅、南西へ徒歩3分

◎演奏曲目：

ヴィヴァルディ 2つのチェロの為の協奏曲
J.S.バッハ ブランデンブルグ協奏曲No.6
ヴィヴァルディ 合奏協奏曲「四季」全曲
指揮：酒井睦雄(相愛大学教授)

◎入場無料：お誘い合わせの上、ご来場ください



連絡先：06-6833-9660 福永